

講義ユニット名	漢方医学	所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	おがわ けいこ	所属	漢方診療センター
	小川 恵子		
講義ユニット コーディネーター	はまなみ よしと	所属	漢方診療センター
	濱浪 嘉登		
授業方法	スライドによる系統講義		
概要	日本の伝統医学である漢方の基礎を理解し、臨床に応用できるよう知識を身につける。		
講義ユニットの 到達目標	漢方医学の特徴や、主な漢方薬の適応、薬理作用を概説できる。 東洋・西洋医学の診断、および治療体系の相違を概説できる。 漢方薬の効能を科学的に概説できる。 気血水・八綱・五臓・六病位・四診・方証相対の概念を概説できる。 漢方薬の作用機序・副作用等を概説できる。 鍼灸治療の特徴と適応を概説できる。		
講義日程	別紙日程表を参照のこと		
出席の取り扱い	講義開始30分以内の出席システムでのカード認証をもって出席とする。学生証を紛失または忘れた場合は学生支援室にある講義出席届出票を受け取り、必ず講義前に担当教員に提出する。グランドルールに加え、病欠・忌引きを含め3分の2以上の出席がない場合は試験（本試験、追試験、再試験等）の受験資格を与えない。出欠回数（受験資格の有無）の問い合わせ、出席不足の場合の受験希望には一切応じない。		
評価項目	漢方の概念理解と漢方薬に関する基礎知識が一定レベルに達していること		
評価法	医師国家試験に準じたMCQ形式にて試験を行う。試験の15分以上の遅刻は認めない。本試験における合格基準は、基本的には絶対基準で60点とするが、得点率60%未満の受験者が総受験者の10%を超えた場合には平均点-1.5×標準偏差を合格基準とする。		
予習・復習への アドバイス	講義前後にスライドを確認し、必要に応じて参考書を用いて、内容の理解に努めること。		
推奨参考書	1. 基本がわかる 漢方医学講義 日本漢方医学教育協議会 2. Kampo Medicine 経方理論への第一歩 単行本 - 2020/7/21 全日本病院出版会		